学校感染症による出席停止および「治癒証明書」について

お子さんは、下記の疾患のため、学校保健安全法第19条により出席停止となります。出席停止期間は下記のとおりです。登校する際は、必ず主治医記入の治癒証明書を担任に提出してください。 なお、出席停止期間は、欠席扱いになりません。

- (※1)インフルエンザによる出席停止については、別紙「インフルエンザにおける療養報告書」になります。
- (※2) 新型コロナウイルス感染症による出席停止については、別紙「新型コロナウイルス感染症における療養報告書」になります。

第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MARS)、特定鳥インフルエンザ(H5N1・H7N9)、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症	*治癒するまで		
第二種	インフルエンザ (※1) (特定 鳥インフルエンザ(H5N1)を除く)	*発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日が 経過するまで		
	百日咳	*特有の咳が消失するまで、または、5日間の 適正な抗菌剤による治療が終了するまで		
	麻疹(はしか)	*解熱した後3日を経過するまで		
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	*耳下腺等の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ全身症状が良好となるまで		
	風疹(三日ばしか)	*発疹が消失するまで		
	水痘(みずぼうそう)	*すべての発疹がかさぶたになるまで		
	咽頭結膜熱(プール熱)	*主要症状の消失後2日を経過するまで		
	結核	*感染の恐れがなくなるまで		
	髄膜炎菌性髄膜炎	*感染の恐れがなくなるまで		
	新型コロナウイルス感染症 (※2)	*発症後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで		
第三種	コレラ、 細菌性赤痢、 腸管出血性大腸菌染症、 腸チフス、 パラチフス、 流行性角結膜炎、 急性出血性結膜炎、 その他()	*感染の恐れがなくなるまで		

(注) 出席停止期間は基準であって、主治医の証明があればこの限りではありません。

治癒証明書

常磐高等学校長 様		年	組 番	氏名				
上記の者は、感染症名()が治癒し登校可能と判断します。						
※ 出席停止の期間月	<u> </u>	月	<u>日</u> まで	令和	年	月	В	
		医療機関名						

師名